

様式第2号

意見交換会実施報告書

実施日時	令和7年11月27日（木）午後3時～5時		
実施場所	宮沢地区公民館2階		
出席議員	和田 哲	菅藤 昌己	安井 一義
	伊藤 浩	畠中 和恵	大類 好彦
	青野 隆一		
参加者数	男性 16人 女性 2人 計 18人 (団体等の名称 宮沢地区区長会・防犯協会・女性の会・他)		
実施概要	テーマ1. 小学校統合に伴う地域の活力維持について行政のさらなる支援を テーマ2. 廃校後の施設活用について テーマ3. 鳥獣被害を食い止める対策について テーマ4. その他		
	【2. 主なご意見・ご要望等】 テーマ①【小学校統合に伴う地域の活力維持について行政のさらなる支援を】 宮沢小学校も間もなく閉校となり、高齢化も進みマンパワーが不足し地域の存続も難しくなっている。こうした状況を踏まえ、これまで以上に行政の支援が必要ではないか。また行政で様々な委員会等を立ち上げ、地区から推薦するよう要請があるがマンパワー不足で人材が見つからない場合も多々あり、地域の声の吸い上げ方も別に考えていただきたい。 テーマ②【廃校後の施設活用について】 地域で学校の利活用を考えるよう行政では言うが、あまりにも施設が大きく地域で手に負えるような規模ではない。廃校施設をどうしていくのか行政としての方向性を示すべきではないか。 司会・・・テーマ①と②と一緒に意見交換を行います。 Q：宮沢区長会で視察を行った。寒河江市の旧田代小学校を改装し、簡易宿泊所で食事も出す。仙台の学生が合宿などでかなり使っている。大江町の旧七軒西小学校を宿泊型の自然・文化体験施設として協力隊の人が管理している。宮沢小学校を銀山に泊まれない人を安く泊まれるような宿泊施設にしてはどうか。 Q：宮沢地区には市議会議員がいないので来ていただき感謝する。廃校を地域で利用するには規模があまりにも大きすぎる。地域で維持管理するのは到底不可能だ。市としてのたたき台を示していただきたい。 A：鶴子の参考事例として、一番目に地域で使う方法がないか。使えない場合は解体というのが市の方針であった。全部使うのは無理なので、一階		

のフロアと体育館・グランドに限定して、地域の利用組織を作つて市と業務委託契約をした。地域の会議や事業やスポ少などの合宿などで昨年度は1600人が使用している。

Q：維持管理はどうなっているのか。

A：月2回の清掃など維持管理は市から業務委託料としていただいている。

Q：女性の会として、やまがたクリエイティブシティセンターQ1（旧山形市立第一小学校）を視察した。飲食店、物販店、展示室、ギャラリー、オフィス、レンタルスペースなどがあった。市の繁華街にあり利用しやすいが、宮沢小学校の場合は県道から離れており、行くのがクマなどで怖い。女性の人の声としては、宮沢小学校の周りに民家がないので、若者たちが使えるような施設にしてはとの意見が多い。

Q：議員の方で考えていることはないか。

A：福原中学校もまもなく廃校となる。福原地区公民館でも自分たちだけで管理するのは難しい。議会からは集落支援員を配置していただきたいという声が出ている。支援員は、一人500万円の範囲で国から特別交付税が支給される。長井市では19人配置している。マンパワー不足にも対応できる。教室を間仕切りして、一人暮らし方などが利用できる集合住宅や地域の居場所づくりをしてもらいたい。そのためには、市として施設管理をすべきと考えている。

Q：今一番問題なのは人口減少だ。子どもを産みやすくする支援策が必要だ。そうでないと尾花沢市は亡くなってしまう。

Q：以前、統合を考えるのであれば、最初に利活用を考えるべきだと申し上げた経緯がある。方向性をこれからというはどういうことか。企業に声をかけるとか、いろいろなアクションをやったというような事例を先に示していただきたい。

A：バイカーの人たちが泊まれる宿泊所なども含めて提案していきたい。

A：第一には地元利用、次には民間利用とか段階がある。全戸からアンケートをとるなどの方法もある。そうしたことも合わせながら、市としての活用方法についても示すよう話していきたい。

A：建物を残すのであれば、固定資産税の減免や施設運営費を市で出すことを前提にして何にでも活用できるようにする必要がある。

テーマ③【鳥獣被害を食い止める対策について】

当地域はクマ・イノシシ・サルさらにはカワウが頻繁に出没している。近年は民家の敷地までクマが進出したり、農地をイノシシが荒らしたりと人に被害が及ばないか心配している。今は山や川、農地さえも荒廃しており国土保全の大局に立った施策が必要ではないか。

Q：防災無線のアナウンスや回覧だけでなく、今やっている方法以上に目新しい効果的な対策はないものか。そのうえで国や県にも対応策をとつていただくようにしていただきたい。

A : クマの出没状況は217件と、前年度比6倍となっている。そばなど農作物被害も甚大になっている。11月19日対策本部の立ち上げした。
(柿の木の伐採助成などの制度について資料説明)
Q : 柿の木伐採の補助金は200m以内だが、地区内の柿の木200m以上はなれている場合でも補助対象になるのか。
A : 原則は200mだということだと思う。
Q : 今年は予算を充分取ったが一過性のものではなく、クマ対策の制度や事業を継続してほしい。
A : 命を守るための補助金事業であるために、今後の在り方などを検討し継続できるよう提案していきたい。
Q : 所有者が市外者や留守宅の柿の木についてはどうすれば良いか。
A : 三市一町や山形県内で話し合いを共有して、広域的に柿の木を伐採出来るように要望していきたい。
Q : 柿の木の他、栗の木やクルミの木も補助対象にして欲しい。
A : 地域ぐるみの鳥獣被害対策組織を作れば対応可能である。
A : 鳥獣被害対策は行政だけでは出来るものではなく、今後とも皆さんの協力をお願いしながら事業を進めていかなければならない。
Q : モンスター・ウルフの視察に山形市の高瀬地区へ行ってきた。アメリカからも視察に来ている。60万円ほどの価格で市の20万円では足りない。防災行政無線でオオカミの声を流してはどうか。

テーマ④【その他】

Q : 宮沢小学校・さくら保育園が閉校したら避難所はどうなるのか。
Q : 地区公民館のテレビが小さくて見えない。もっと大きなものにして欲しい。
Q : 岩谷沢地区急傾斜対策の擁壁工事について早く着工して欲しい。
Q : 赤川復旧工事20億円90%以上終わり、感謝している。
Q : スクールバスは停留所以外にも、玄関まで降り場を増やして欲しい。
A : スクールバスは、家の近くで降ろしてもらえるように要望している。
A : 家族が送迎できない場合は、タクシーも利用行いながら、きめ細かく運行できるよう要望したい。
Q : 火災の時の防災無線は、場所についてもう少し詳しく放送して欲しい。丹生と言っても安久戸も丹生だ。大字尾花沢や延沢も幅広い。
A : 防災無線だけではなく、電話・メールなどいろんな方法でお知らせできるように要望したい。
Q : 集落支援員の配置を是非お願いしたい。
A : 新年度に予算を計上し、支援員を配置すれば、年度途中に申請しても特別交付税措置が行われるため、強く要望していきたい。

司会・・・最後に今後の参考のためアンケートの記入をお願いする。

【3. 参加者のアンケートより】

- ・婚活支援強く進めてほしい。お見合いの機会の設置を。
- ・議員の熱意が伝わった。もっとこのような機会を増やしてほしい。
- ・議員も頑張る。市民も頑張る。よりそって考え、一緒に行動してほしい。車の両輪のように。
- ・国の補助金もあり、集落支援員の配置について進めてほしい。
- ・市の各種委員会に出席した場合の旅費日当などの費用弁償を実施してほしい。

◆満足度 満足1 やや満足5 どちらともいえない2 不満1

【4. 今後の取り組み】

1. 意見交換会の内容は、広報広聴委員会で取りまとめ、議長に文書で報告する。
2. 市政に対する要望・提言等で重要なものは、議長が取りまとめ市長に文書で提出する。
3. この報告書は市議会ホームページに掲載するほか、概要を議会だより等で公表する。

【5. 議会としての対応】

12月定例会一般質問で、いただいた要望などについて各議員より積極的に一般質問が行われた。

【6. 市長に対する要望事項】

1. 廃校活用方法については、市としてのたたき台を示すとともに、地域のマンパワー不足を改善するために集落支援員を配置していただきたい。
2. 宮沢小学校は、正巣、丹生、上ノ宿地区の指定避難所となっているが、廃校後はどのような位置づけとなるのか示していただきたい。
3. 鳥獣被害対策として、伐採補助対象木を栗やクルミなどにも拡大するとともに、モンスターウルフの活用など、より効果的な取り組みを行っていただきたい。
4. 火災などの防災行政無線では、大字名ではなく集落名まで放送していただきたい。